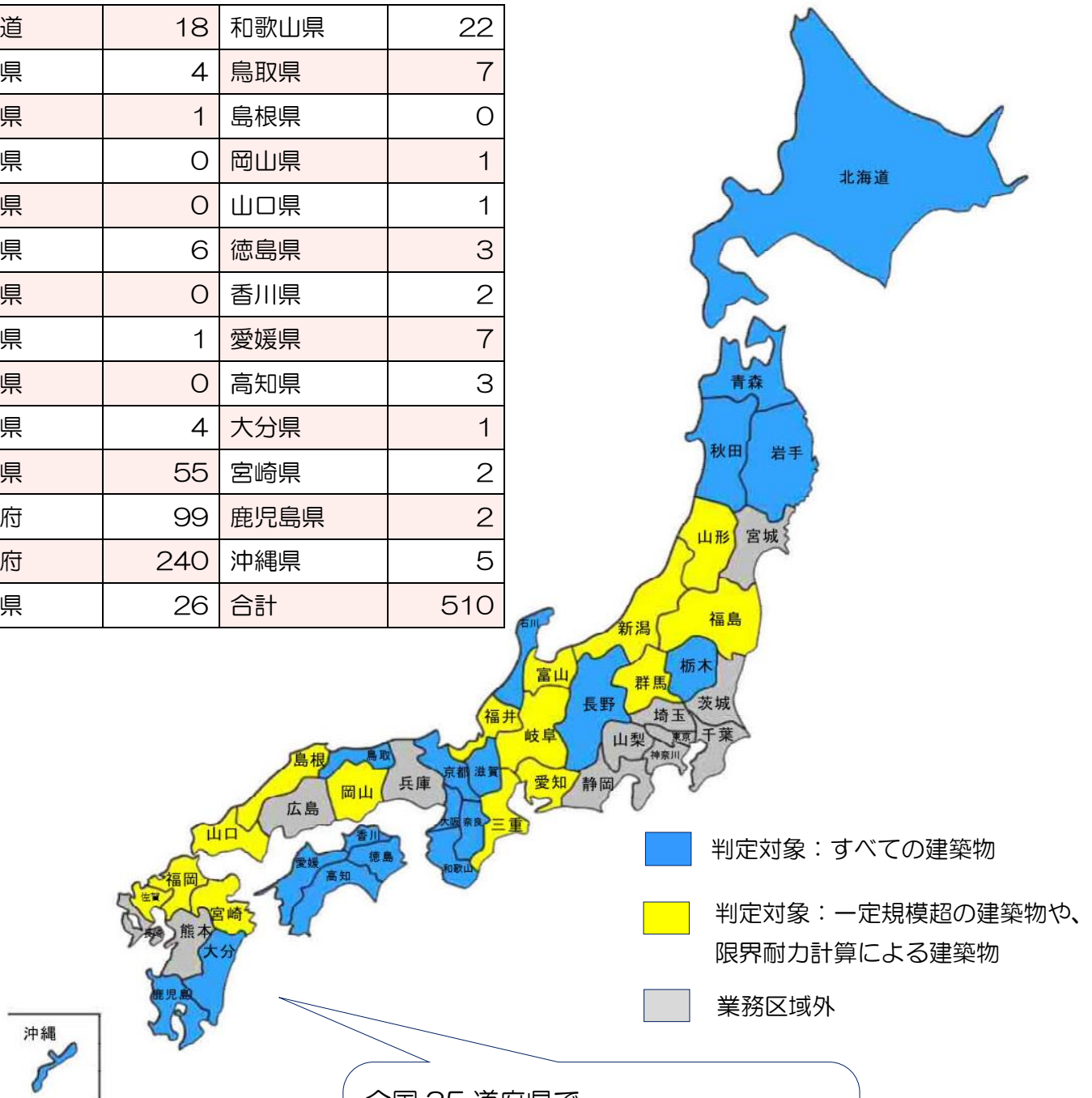


§ 1. GBRC 適判情報

■ 2021 年度の判定実績（2021.4 月～2021.7 月）任意判定含む

(棟)

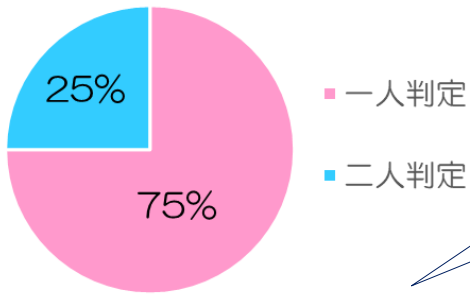
北海道	18	和歌山県	22
秋田県	4	鳥取県	7
山形県	1	島根県	0
栃木県	0	岡山県	1
富山県	0	山口県	1
石川県	6	徳島県	3
福井県	0	香川県	2
長野県	1	愛媛県	7
岐阜県	0	高知県	3
三重県	4	大分県	1
滋賀県	55	宮崎県	2
京都府	99	鹿児島県	2
大阪府	240	沖縄県	5
奈良県	26	合計	510



全国 35 道府県で
構造計算適合性判定を行っています。
ご利用をお待ちしております。

■ 事前審査の受付から質疑送付までの日数（2021.6月～7月）営業日ベース

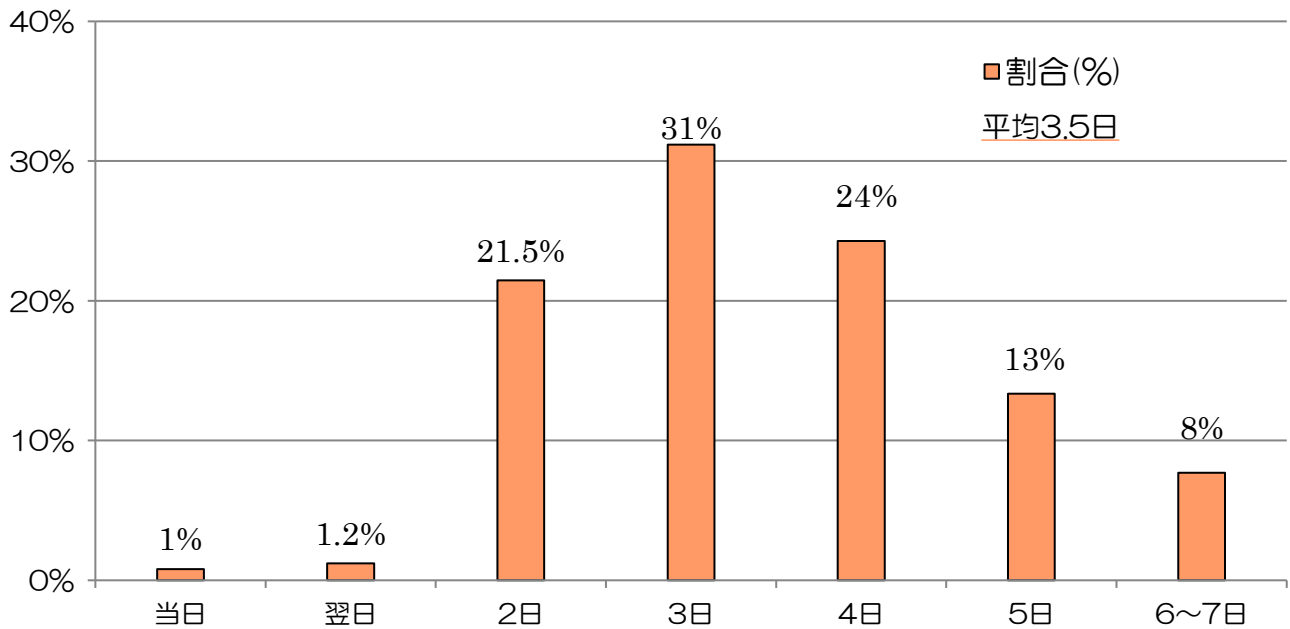
一人判定と二人判定の割合 ※高さ20m超の建物が二人判定となります。



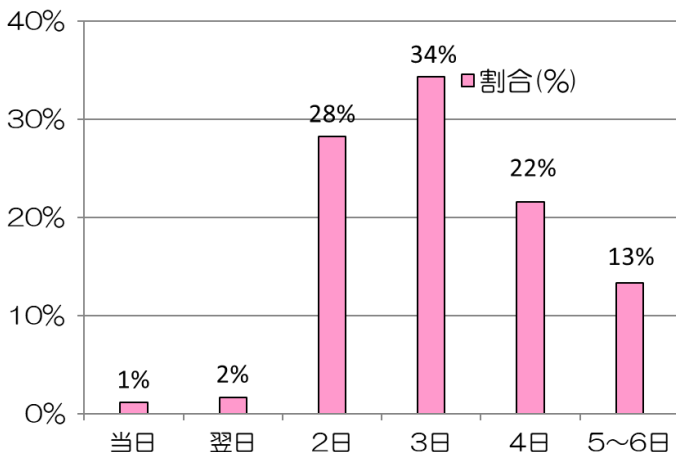
土日祝日の日数は除いています。



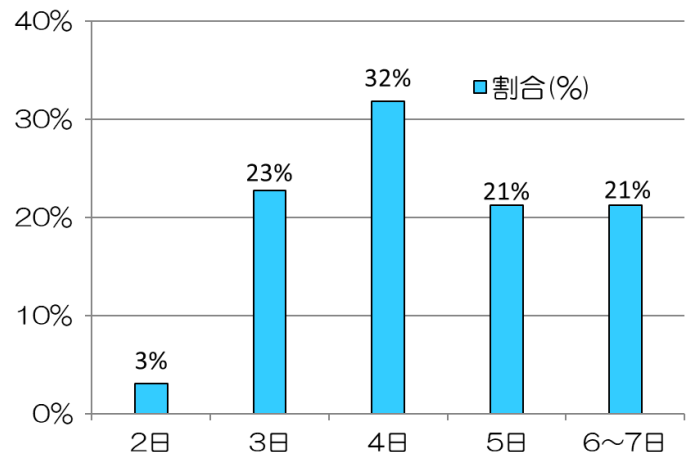
[対象] 2021.6～7月に事前審査を受け付けし、質疑を送付した申請
(質疑無し、取り下げ、を除く)



一人判定の申請
(高さが20m以下の建築物、計画変更等)



二人判定の申請
(高さが20mを超える建築物等)

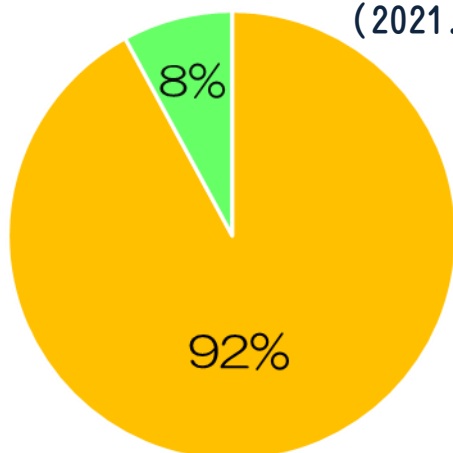


■ PDF・Docuworks 図書による事前審査を行っております。

- 印刷費用の削減や受付処理の短縮に効果があります。
- 新型コロナウイルスの感染防止対策としても、是非、ご利用ください。
- 詳しくはGBRC構造判定センターまでお問合せ下さい。



事前審査の提出形式割合
(2021.6月～7月)



■ データでの事前審査

■ 紙での事前審査

- 事前審査案件のうち約9割の案件が、PDFまたはDocuWorksデータにより提出をしていただいております。
- 提出には、普段お使いのファイル転送サービスをご使用ください(データ便やギガファイル便等)。
- 当法人のSmooth File もご使用いただけます。
空メールを hantei5@gbrc.or.jp へお送りください。アップロード用のURLをお送りいたします。

■ テクニカルサポート(相談窓口)について 《費用はかかりません》

□対象建物 当法人に判定申請予定の建築物

□申込方法 まずはGBRC構造判定センターまで電話またはメール(hantei5@gbrc.or.jp)でお問合せ下さい。
Web会議による面談も可能です。面談をご希望の場合は、スケジュール調整等をさせていただきます。
(GBRCのHPにも説明があります。)

□相談方法 モデル化や諸数値の設定など構造計算に関する工学的判断を要する事項などのご相談内容について、設計者のご判断を具体的に示していただき、その考え方が適切かどうかについて判定員がお答えします。
通常、議事録形式にて、メールでお返しします。
ご相談の内容によっては、週一回の判定会議で審議した後にご回答致します。



§ 2. 計算書作成時の注意点

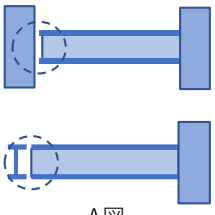



■ 片側ピン接合大梁の横補剛検討

S造大梁の横補剛がどうなっているかは建物の靱性を計るうえで重要なチェック項目です。

昭55建告第1792号第3号イでは「はりの横補剛が十分であって急激な耐力の低下のおそれがない場合」に、部材群としての種別（A～C）を表に従って定めるとされています。つまり、横補剛が十分でなければ部材群としての種別はDになります。

横補剛の検討において妥当性が懸念される項目の一つに、片側が柱に剛接合、もう片側が①柱にピン接合、あるいは②直交大梁のスパン中間に剛またはピン接合となっている大梁のケースがあります。

下記フローを参考に妥当性をチェックしてみてください。

		Yes	OK
横補剛の検討	<p>片側端部がピン接合のS造大梁がありますか。 (A図参照)</p>  <p>A図</p>	Yes	<p>当該大梁の応力状態（逆対称の曲げモーメント分布になっていないこと（B図参照））を反映した横補剛の検討となっていますか。</p>  <p>B図</p>
		No	<p>下記のような方法により、応力状態を反映した検討を行うことが考えられます。</p> <p>例1) 全長にわたって均等間隔配置する場合：便宜的にスパンを2倍して箇所数計算（C図参照）</p>  <p>C図</p> <p>例2) 梁端部近くに配置する場合：他端ピンであることを考慮した曲げモーメント分布（B図参照）を採用して検討 (注：SS7では、両端ヒンジ状態（逆対称（D図参照））の曲げモーメント分布でなくB図の曲げモーメント分布として検討するために部材端結合条件「ピン」の指定が必要です)</p>  <p>D図</p>

～編集後記～

猛暑の夏が終わり、早くも秋の訪れを感じさせる季節となってきました。

「食欲の秋」最近、コロナ禍の影響もあって、色々なお店でテイクアウトが出来るようになり、高級でなかなか手がでないようなお店でも、同じ味を家で楽しむ事が出来たり、小さなお子さんの居られる家庭であれば、家でゆっくりご飯が食べられると云ったメリットがあったり、様々な場面で活用出来るので、利用者にとっては有難いですよね。

GBRCも、更にサービス向上に努めて参りますので、ドシドシご利用お待ちしております。



GBRCの適判へ気軽にご相談ください。

一般財団法人 日本建築総合試験所 構造判定センター 白藤(しらふじ)

〒540-0026 大阪市中央区内本町 2-4-7 大阪 U2 ビル7階 電話 06-6943-4680 FAX 06-6943-4681

E-mail hantei5@gbrc.or.jp

GBRC 適判

